

ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書

(工事名：〇〇〇〇工事)

会社名：〇〇〇〇建設(株)

当該工事において活用する技術については、以下のとおりです。

(A) 施工プロセスの段階	(B) 作業内容	(C) 採用する技術番号	(D) 技術番号・技術名
<input type="checkbox"/> ① 3次元起工測量			1 空中写真測量(無人航空機)を用いた起工測量 2 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量 3 トータルステーション等光波方式を用いた起工測量 4 その他の3次元計測技術を用いた起工測量 ※複数以上の技術を組み合わせ可
<input type="checkbox"/> ② 3次元設計データ作成			※3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成が望ましいが、ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データも可能とする。
<input type="checkbox"/> ③ ICT建設機械による施工 ※当該工事に含まれる右記作業内容に「☑」を付ける	<input type="checkbox"/> 掘削工		1 3次元MCまたは3次元MGブルドーザ 2 3次元MGバックホウ ※MC:「マシンコントロール」の略称、 MG:「マシンガイダンス」の略称 ※採用する機種及び活用作業工種・施工範囲については、受注後の協議により決定する。
	<input type="checkbox"/> 路体盛土工		
	<input type="checkbox"/> 路床盛土工		
	<input type="checkbox"/> 法面整形工		
	<input type="checkbox"/> 表土扱い		
	<input type="checkbox"/> 基盤造成		
	<input type="checkbox"/> 表土整地		
<input type="checkbox"/> ④ 3次元出来形管理等の施工管理 ※当該工事に含まれる右記作業内容に「☑」を付ける	<input type="checkbox"/> 出来形		1 空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理 2 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3 トータルステーション等光波方式を用いた出来形管理 4 その他の3次元計測技術を用いた出来形管理
<input type="checkbox"/> ⑤ 3次元データの納品			

【留意事項】

- 注1) (A)施工プロセスの段階及び(B)作業内容で活用する項目に☑を付ける。
- 注2) (C)採用する技術番号に(D)の技術番号を記入する。(複数以上の技術の組み合わせ可)
- 注3) 各施工プロセス①～⑤の活用数に応じ評価する。
- 注4) 本表(D)技術番号/技術名に記載している技術は、施工計画等・技術提案(いわゆる作文)の評価対象外とする。
- 注5) 工事の発注は、「ICT施工・3次元化等の活用提案」を活用しない従来工法での積算により発注し、提案した技術は、設計変更の対象とする。なお、積算手法については下記のとおりとする。
 ただし、費用を計上できない工事については、その旨を特記仕様書(施工条件明示書)に明記している。

次の①から⑤の施工プロセスに係る積算計上は、農林水産省「情報化施工技術の活用ガイドライン」を準用

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

注6) 落札候補者となった時点で発注者へ提出する。